

# 安全データシート

版番号 2.4  
改訂日 8.17.2023  
発行日 12.26.2022

## 1 化学品及び会社情報

### 1.1 製品識別名

製品名: **Ex-All in One** (基礎培地)

製品コード: **ME-01A00112** (基礎培地 100mL 1本)、**ME-01A00152** (基礎培地 500mL 1本)

### 1.2 物質または混合物の用途

研究開発での使用のみ。薬事、家庭用その他の用途には用いない。

### 1.3 会社情報

株式会社マイオリッジ

〒606-8305 京都市左京区吉田河原町 14 番地 公益財団法人京都技術科学センター本館 B5 号室  
075-585-4560

### 1.4 緊急連絡電話番号

090-3706-6496 (事業本部 技術部門)

## 2 危険有害性の要約

### 2.1 ラベル要素

GHS 分類基準に該当しない

### 2.2 GHS 分類

GHS 分類基準に該当しない

### 2.3 他の危険有害性

データなし

## 3 組成及び成分情報

混合物

適用法令により開示が必要とされる成分はない。

## 4 応急処置

### 4.1 吸入した場合

新鮮な空気のある場所に移すこと。症状が続く場合には医師に連絡すること。

### 4.2 皮膚に付着した場合

すぐに多量の水で洗浄すること。症状が続く場合には医師に連絡すること。

### 4.3 眼に入った場合

多量の水で洗浄する。症状が続く場合には医師に連絡すること。

### 4.4 飲み込んだ場合

口を水ですすぐ。症状が続く場合、医師の診察を受ける。意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。



## 5 火災時の措置

### 5.1 消火剤

現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。

### 5.2 特有の危険有害性

データなし

## 6 漏出時の措置

### 6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

蒸気、ミスト、またはガスの呼吸を避ける。

### 6.2 環境に対する注意事項

汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。

### 6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材

ウエス等に吸収させ、密閉できる空容器に回収する。

## 7 取扱い及び保管上の注意

### 7.1 安全な取扱い

適切な保護具を使用すること。液体が飛散しないように取り扱うこと。

### 7.2 保管条件

容器を密栓し、-20℃で保管する。基礎培地とサプリメントの混合培地は2-8℃で保管する。

## 8 曝露防止及び保護措置

### 8.1 許容濃度

データなし

### 8.2 曝露防止

眼／顔面の保護

保護眼鏡を着用する。

皮膚及び身体の保護

保護手袋を着用する。

身体の保護

適切な保護衣を着用する。

呼吸用保護

保護マスクを着用する。

## 9 物理的及び化学的性質

### 9.1 基礎物理及び化学特性の情報

形状

液体

色

透明、赤色

臭い

データなし

pH

6-8

融点・凝固点

データなし

沸点、初留点及び沸騰範囲

データなし

引火点

データなし

蒸発速度

データなし

可燃性

データなし

引火上限/下限または爆発限界

データなし

蒸気圧

データなし

蒸気密度

データなし

比重（密度）

データなし



水溶性	データなし
n-オクタノール/水分配係数	データなし
自然発火温度	データなし
分解温度	データなし
粘度(粘性率)	データなし

## 10 安定性及び反応性

反応性	データなし
化学的安定性	データなし
危険有害反応可能性	データなし
避けるべき条件	データなし
混触危険物質	データなし
危険有害な分解生成物	データなし

## 11 有毒性情報

急性毒性(経口)	データなし
急性毒性(経皮)	データなし
急性毒性(吸入)	データなし
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	データなし
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性, 単回曝露	データなし
特定標的臓器毒性, 反復曝露	データなし
吸引性呼吸器有害性	データなし
皮膚腐食性	データなし
眼に対する重篤な損傷性	データなし

## 12 環境影響情報

生態毒性	データなし
残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壤中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなし

## 13 廃棄上の注意

内容物及び容器は、各地方自治体の条例や国内規制に従い産業廃棄物として適切に処理する。

## 14 輸送上の注意

### 14.1 国内規制

陸上規制情報	消防法、道路法の規定に従う
海上規制情報	船舶安全法/危険物船舶輸送及び貯蔵規則等の規定に従う



## 15 適用法令

毒物及び劇物取締法	該当なし
労働安全衛生法	該当なし
化学物質排出把握管理促進法	該当なし

## 16 その他の情報

本 SDS は詳細な検索または調査に基づいて作成されていますが、すべての情報を網羅しているわけではありません。本情報は化学物質の安全性の指標としてのみご使用ください。また、本 SDS の記載内容は情報提供を目的としており、当該化学物質の取り扱い上のいかなる保証をなすものではありません。